

◆ 修行について ◆

皆さん仏道修行と聞くと、何を思い浮かべますか。滝に打たれる、座禅を組む、山を歩く、等様なイメージを持たれると思います。

先般行われた「星まつり」までの二ヶ月間、私も朝に、水行^{みづぎ}をして身を清め祈願を致しました。この水行も修行の一つです。霊水によって、心身の罪や穢れを洗い流し、神仏に近づき祈りを捧げます。



しかし、皆さんが日々の生活の中で、水行^{みづぎ}をしてから職場や学校に行くというのは、なかなか出来る事ではありません。

そこで、別の修行を紹介します。

「声を出してお経を唱えてみましょう」簡単な様ですが、非常に重要な「行」です。お経を「読誦(どくじゆ)」すると言いますが、「誦」は念ずる事、「読」は声を出して読む事です。

声を出すことの重要さはお釈迦様のお姿の特徴にも示されています。お釈迦様の姿には、三十二個の素晴らしい特徴があります。

「額に白毫(びやくごう)がある」「体が金色」「髪の毛が渦をまいている」……など目に見える三十一の相(特徴)があります。最後の一つは目に見えません。



それは

「梵音相(ぼんのんじょう)」と呼ばれます。「五種清浄の仏の声」と表される、得も言われぬ素晴らしい声も仏様の特徴なのです。

御仏像の前で、私たちが声を出してお経を読む事で、三十二個全ての相が完成するので。

声を出すこと最初は恥ずかしいかもしれませんが、お寺での行事、お仏壇やお墓、納骨堂の前など、お経を読む機会も多くあります。上手く読めなくても構いません。長いお経でなくても、尊い「南無妙法蓮華経」のお題目の声を出してみてください。必ずやその梵音が身魂に染み入り、祈りの成就となります。

人生には、大きな岐路、選択を迫られる場面があります。心身に重圧がのし掛かることもあるでしょう。そんな時こそ、信仰を心の支えにし、必ず乗り越えるんだという強い力を手にしてください。

妙君寺は、その信仰のお導きを致します。

合掌